

大麦管理特報 ~第2号~

令和5年10月13日
黒東地域農業技術者協議会

大麦の収量・品質を高めるためには、健全な根づくりで年内の莖数を確保することが重要です。折々に排水溝や排水口を点検し、排水対策をしっかりと行いましょう。

1. 播種

播種が遅れている場合も、まずは排水対策をしっかりと行い、10月中には播種を終えましょう。

＜播種時期ごとの播種量の目安＞

播種時期	目標苗立数 (㎡当たり)	播種量の目安(10a 当たり)	
		ドリル播	表面散播
10月中旬	200本	8.5kg	9.0kg
10月下旬	230本	10kg	

2. 排水対策

～健全な根をつくり、収量と品質の向上を～

① 排水溝の点検

- ・降雨後は、ほ場を巡回し、排水溝に水が溜まっている場合や、溝が崩れている場合は、速やかに溝を手直しして、水が流れるようにしましょう。

② 溝の連結及び排水口の点検

- ・溝の連結部分と排水口を確認し、連結部の手直し及び排水口の掘り下げを行いましょう。



排水口を掘り下げ、排水を徹底しましょう！

3. 年内追肥

～追肥は的確に施用しましょう～

▷分施肥系（エコ大麦44号以外）の場合

肥料名	10a 当たり施用量	施用時期
硫安	20kg	播種1ヶ月後

▷一発体系（エコ大麦44号）の場合

- ・基本的に追肥は必要ありません。葉色が淡くなった場合は、営農指導員または普及指導員にご相談ください。

J A みな穂営農センター TEL 74-2440 J A みな穂あさひ支店経済課 TEL 83-3212
各地区担当営農指導員、新川農林振興センター農業普及課 TEL 52-0094